

第67期 中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日

LECIP GROUP

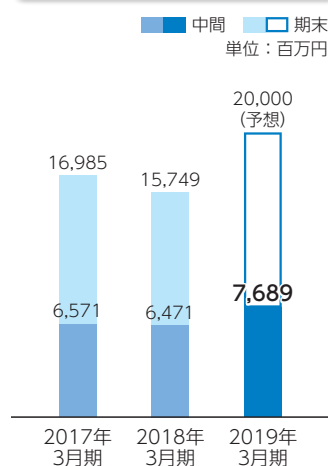
レシップホールディングス株式会社

証券コード：7213

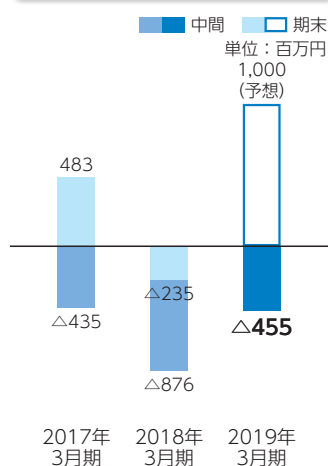
決算サマリー / Summary

決算の詳細情報は [レシップHD](#) [IR](#) [検索](#)

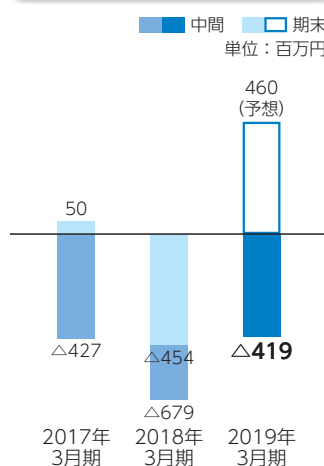
売上高



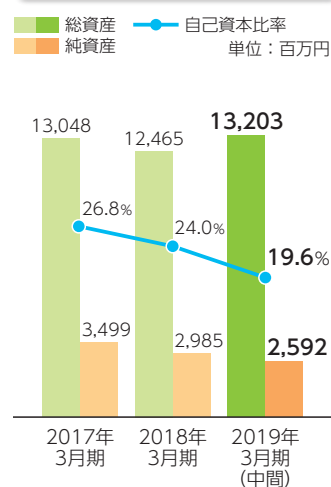
営業利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



総資産 / 純資産 / 自己資本比率



ポイント

- 売上高は前年同期に比べ増加
- 増収に伴い、損失幅も縮小

通期見通し

- 首都圏バス用ICカードシステムの更新が増収増益に寄与
- 通期業績予想の修正なし

トピックス

横浜市交通局より運賃収受システムを落札

4月

首都圏向けICカードシステムの更新開始

6月

7月

東京に開発センターを開設



代表取締役社長
杉本 眞

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結決算累計期間における我が国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上面では輸送機器事業、産業機器事業ともに前年同期実績を上回り、損益面では、増収に伴い損失幅を縮小しました。特に今年度から始まった首都圏のICカードシステムの更新が増収につながり、通期予想につきましても、当初の業績予想から変更なく、増収増益を見込んでおります。

キャッシュレスや自動運転等の技術革新のスピードは速く、当社を取り巻く事業環境は大きく変化しています。こうした環境変化に迅速かつ柔軟に対応し、今後も中長期的な視点で経営を行ってまいりますので、引き続きご支援、ご指導の程よろしく申し上げます。

事業別概況/Business Segment Overview



輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・室外用照明機器の製造・販売も行っています。

当第2四半期の営業概要

鉄道市場及び自動車市場では減収となったものの、バス市場については、当期から本格的に始まった首都圏バス用ICカードシステムの更新により、ICカードリーダーライタなどの売上が拡大していることから、全体としては増収となり、損失幅も縮小しました。

産業機器事業

インバータ技術をベースとした産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業も行っています。

当第2四半期の営業概要

自動車向けプリント基板実装の受託が大きく拡大したほか、ガソリンスタンドやコンビニエンスストア等の店舗看板の掛け替えが進んだことによりLED電源の販売が好調に推移したことから、増収増益となりました。

売上高

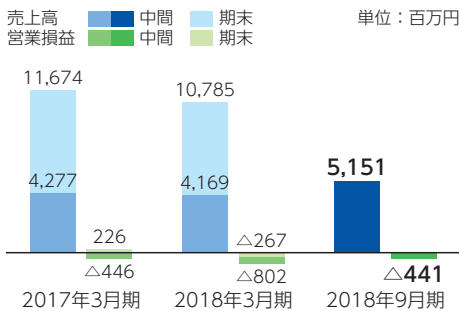
51億51百万円

前年同期比23.6%増

営業利益

△4億41百万円

前年同期は8億2百万円の営業損失



売上高

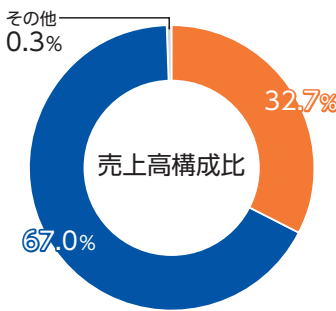
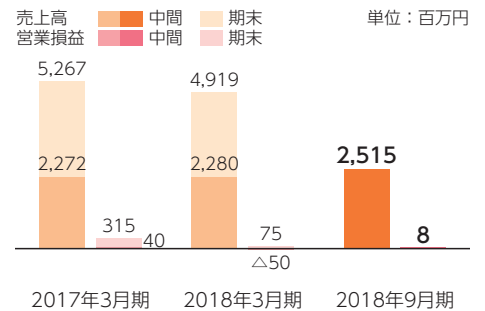
25億15百万円

前年同期比10.3%増

営業利益

8百万円

前年同期は50百万円の営業損失



主な製品

バス・鉄道用システム機器

- ICカードシステム
- 運賃箱
- 整理券発行器
- OBC-VISION (液晶表示器)
- LED式行先表示器
- 運行管理システム



主な製品

- フォークリフト用充電器
- 屋外用無停電電源装置
- LED電源
- 直管型LEDランプ
- 屋外蛍光灯看板用電子安定器
- ネオン変圧器 (巻線式・電子式)
- プリント基板実装事業





当社グループは、2016年4月よりスタートした中期5カ年計画「CA2020 (Challenge Again 2020)」の中で、以下の4つの重点課題を掲げております。当社グループは、中長期ビジョンの実現に向けて、市場競争力のある製品を開発するとともにグローバルに事業を拡大していきます。

重点課題

1. MaaS*の実現に向けた新しい価値の創造
2. 育成分野への経営資源のスムーズな移行
3. 海外ビジネスの黒字化
4. 業務プロセス改善による生産性の向上

*Mobility as a Service



トピックス/Topics



1 首都圏向けICカードシステムの更新開始



2018年4月より、首都圏向けのICカードシステムの更新がスタートしました。首都圏のバス事業者は、2007年にサービスが開始されたICカードシステムの更新時期を迎えています。この更新需要に備え、レシップ株式会社は新型運賃箱LFZの開発や販売、本社工場の生産ライン増設、レイアウトの変更、営業・サービスマンの増員等を行ってきました。新型運賃箱LFZは、従来に比べ小型・軽量化したほか、乗客の利用しやすさや乗務員の操作性を向上させました。現在、バス事業者から多くのご注文をいただいております。ICカードユニットの交換や運賃箱の入れ替えを進めています。

2 東京に開発センターを開設

2018年7月、新たな開発拠点として、東京・池袋に「レシップ開発センター」を新設しました。MaaSの実現に向けた体制を整えるとともに、国内・海外市場におけるAFC(運賃収受システム)や、TMS(運行管理システム)、鉄道用照明システムの開発等を加速させていきます。国内・海外技術者が勤務しており、従業員約30名でスタートしました。

現在、人や物の移動の概念が変わりつつあり、「移動のサービス化」が進んでいます。レシップグループもこのような社会の変化に迅速に対応するため、MaaSや次世代モビリティ領域における技術開発を強化することで、シームレスな交通の実現を目指していきます。



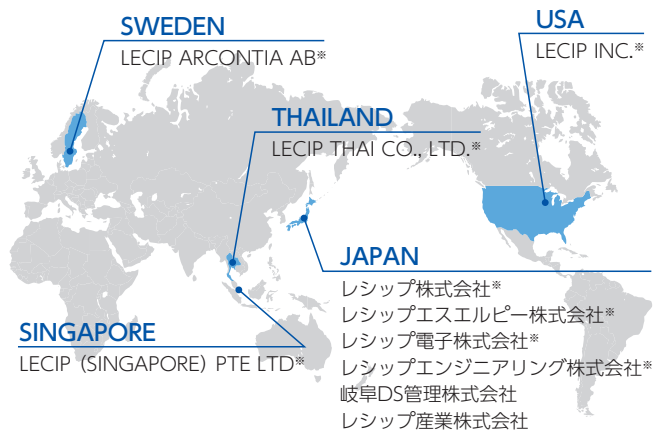
会社概要

商号 レシップホールディングス株式会社
(英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立 1953(昭和28)年3月
資本金 7億3,564万円
従業員 連結588名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部

役員

代表取締役社長 杉本 眞
専務取締役 山口 芳典
取締役 長野 晴夫
取締役 杉戸 庸晃
取締役 監査等委員 木村 静之(社外)
取締役 監査等委員 杉山 涼子(社外)
取締役 監査等委員 内木 一博(社外)

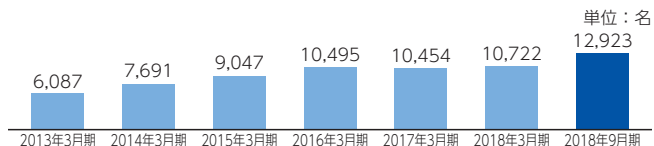
レシップグループ (※は連結対象会社)



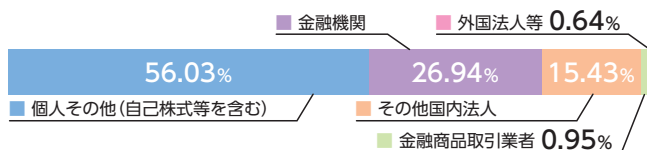
株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株
発行済株式総数 12,798,200株
株主数 12,923名

株主数推移



所有者別株式数分布



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	1,030,340	8.3
名古屋中小企業投資育成株式会社	936,480	7.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)	599,814	4.8
株式会社十六銀行	560,000	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口)	388,926	3.1
杉本 眞	383,940	3.1
楽天損害保険株式会社	300,000	2.4
日本生命保険相互会社	260,000	2.1
株式会社三菱UFJ銀行	245,000	1.9
レシップ取引先持株会	198,400	1.6

(注) 持株比率は、自己株式(456,019株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告により行う。【公告掲載URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>】
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先 **レシップホールディングス株式会社**

管理本部 総務部 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
TEL. 058-324-3121 FAX. 058-323-2597
URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

